

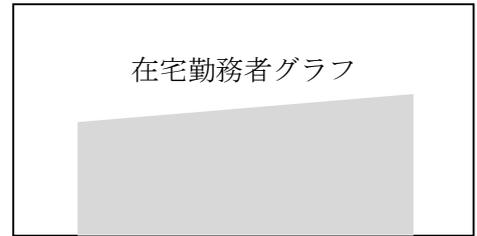
1 自分らしいスタイルが実現できるまち 地域と趣味としごとが重なる暮らし（シナリオ案）

現状や課題

【現状】

- ・テレワーク環境が完全に整っていない
- ・副業ができない勤務条件になっている
- ・勤務形態や勤務時間が固定的
- ・有給休暇を取得しにくい
- ・残業が常態化している

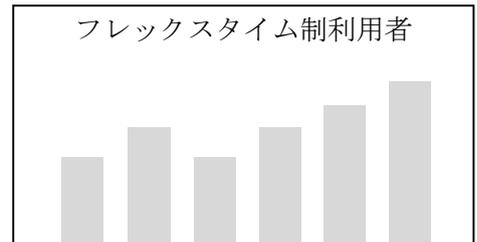
在宅勤務者グラフ



【課題】

- ・在宅勤務への対応が難しい
- ・ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができない
- ・趣味ややりたいことをする時間をとることが難しい
- ・テレワークによる長時間労働を防ぐ

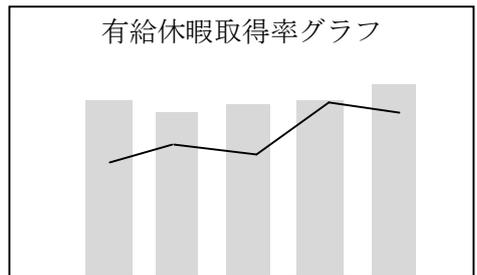
フレックスタイム制利用者



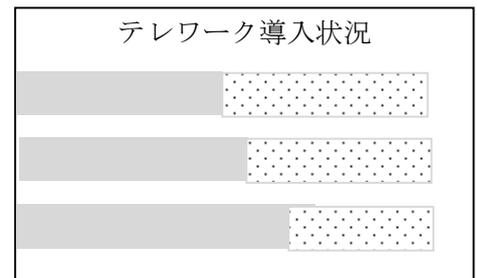
中間像への取組

- ・業務のデジタル化（テレワーク）を推進
- ・在宅勤務対応機器の整備
- ・残業時間の減少
- ・有給休暇を取得しやすい環境の整備
- ・理念やビジョンを発信した企業への信頼度の増加
- ・社内でなく自宅等で働く「雇用型テレワーク」の普及
- ・仕事とプライベートの調和を図り、効率的に働くことができる
- ・深夜労働の制限や深夜・休日のメール送付の抑制
- ・労働時間管理の徹底
- ・多様な人材の能力発揮が可能
- ・サテライトオフィス設置の促進

有給休暇取得率グラフ



テレワーク導入状況



ここがポイント！（中間像）

【仕事】

- ・社内での雰囲気が良い
- ・残業が少ない
- ・多くの企業が理念やビジョンを発信し、労働者が企業の基本姿勢が明確にわかる
- ・有給休暇が取得しやすい
- ・どの企業に勤めても副業しやすい

【趣味・生活】

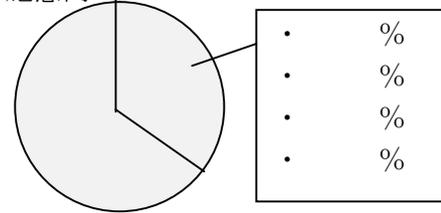
- ・仕事と趣味、やりたいことの両立ができる
- ・地域のコミュニティに参加する機会の増加
- ・子育て、介護と仕事の両立ができる
- ・趣味やライフスタイルに合わせた働き方ができる

【将来に向けて】

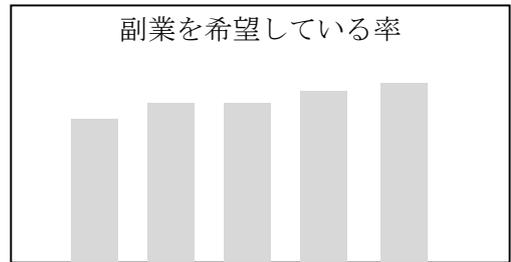
〈将来像への取組〉

- ・企業の勤務時間や雇用形態がフレキシブルな勤務形態になる
- ・社会の変化に対して柔軟な働き方ができる
- ・地域のコミュニティに参加する機会が増える
- ・つながりを付加したフォースプレイスの獲得
- ・企業を含めたシェアリングエコノミーの拡大
- ・自分が望む生活水準の所得を得られる環境の整備
- ・失敗してもチャレンジできる環境の整備
- ・希望する仕事に就きやすい環境
- ・取得している資格を副業に活かす
- ・個人の専門的な知識・経験を要する職種に就ける
- ・ワークライフマネジメントの導入

テレワークを利用したい労働者の実施意向



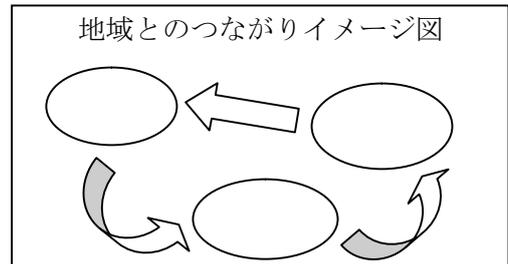
副業を希望している率



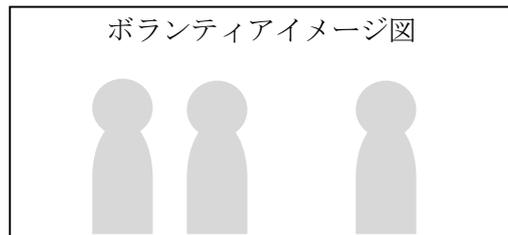
〈将来像〉

- 時間や気持ちにゆとりができる
趣味、地域活動などのサードプレイス、つながりを付加したフォースプレイスを充実させることにより仕事と趣味と地域が重なる暮らしができる
- 成長できる環境
仕事だけでなく様々な分野に対してやりがいと生きがいを持って社会貢献することで見聞を広げ成長する
- 充実した生き方の浸透
住みたい地域で住み続けることができ、生活の拠点が複数つく。家族や仲間とのつながりを通じて様々な人と夢を語ることができる

地域とのつながりイメージ図



ボランティアイメージ図



阪神地域住宅街 写真

